

## 新生SBIグループ

2005年7月、ソフトバンク・インベストメント株式会社は

ファンド運営事業を分割委譲するとともに、

SBIホールディングス株式会社に社名変更し、

持株会社体制に移行しました。

お客様のために、投資家のために、より革新的なサービス、

ビジネスの創出につとめ、顧客価値、株主価値、人材価値の総和たる

企業価値の極大化を追求してまいります。



### SBIグループの経営理念

正しい倫理的価値観を持つ

金融イノベーターたれ

新産業クリエイターを目指す

セルフエボリューションの継続

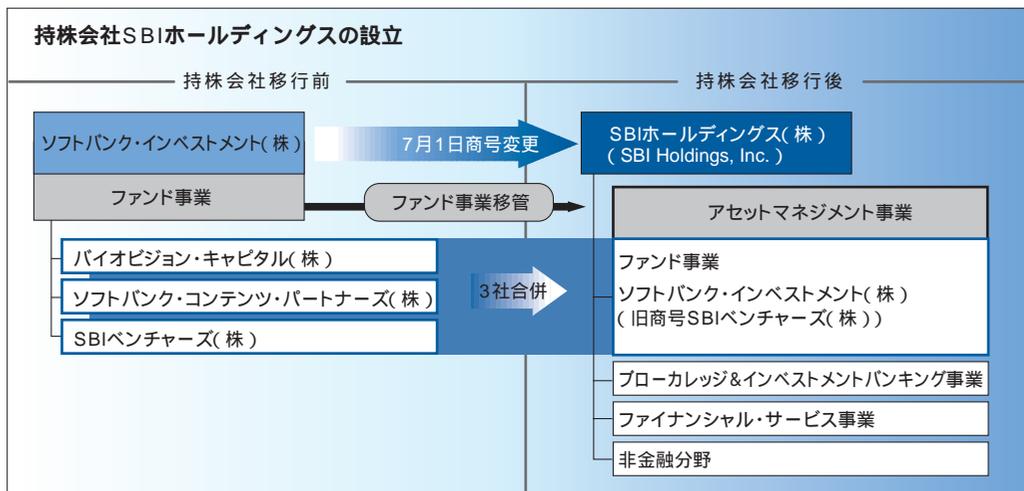
社会的責任を全うする

## 持株会社体制への移行

### 企業価値の飛躍的な拡大へ向けて。

2005年7月1日、ソフトバンク・インベストメント株式会社はファンド運営事業等を分割し、100%子会社であるSBIベンチャーズ株式会社に承継するとともに、商号を「SBIホールディングス株式会社」に変更し、持株会社体制に移行しました。

これにより、グループの経営理念とビジョンに基づいた全体戦略を持株会社において策定し、グループシナジーを徹底的に追求する事業ポートフォリオの構築を進めるとともに、金融のコングロメリット化の流れを先取る強固な総合金融グループ体制を確立していきます。そして、金融ビジネスで培ってきた経営資源やノウハウを活用し、金融と密接する事業領域、グループ会社と関係する金融以外の事業領域への進出も視野に入れ、飛躍的な企業成長を目指します。



## 3つのコアビジネス

SBIグループは3つのコアビジネスを中心とした総合金融グループを形成しています。



## SBIグループの ビジョン

### 1. 顧客価値を土台として、株主価値・人材価値との相乗効果を働かせ 企業価値の極大化を図る。

SBIグループでは、企業価値を顧客価値、株主価値、人材価値の総和として考えています。

顧客価値とは、その企業が提供する財・サービスの本源的価値であり、顧客がその企業の財・サービスに対して支払うキャッシュフローです。

株主価値とは、その企業の株式時価総額と負債の時価総額の和であり、将来予想されるフリーキャッシュフローの現在価値です。

人材価値とは、その企業の役職員の価値であり、それは企業に創造性、差別化、競争力をもたらす源泉として、非常に重要な戦略的資源です。

### 2. グループ内上場企業の合算時価総額を現在の1兆円から3年後に3兆円、 5年以内に5兆円とすることを目指す。

この目標達成の方策として、グループの上場企業の自己成長・自己増殖、グループの未上場企業の株式の新規公開、M&A・ジョイントベンチャーの設立・戦略的提携を通じて時価総額の増大を目指します。

### 3. 「強い企業」から「強くて尊敬される企業」を目指す。

SBIグループは本業を通じて社会に貢献するだけでなく、法令順守および倫理的行動の徹底、人材の育成、地域社会への貢献、環境への配慮など、企業の社会的責任を積極的に果たしていくことで、「強くて尊敬される企業」を目指し企業価値の長期的な増大を図っていきます。

## SBIグループの ブランド強化

### 統一ブランドを制定し、グループアイデンティティを明確にします。

持株会社体制への移行にともない、「SBI」をグループの統一ブランドに制定し、シンボルマークを一新しました。「SBI」を各グループ会社の商号にも冠することで、グループアイデンティティを明確にするとともに、ブランド価値を共有することで、グループの連帯感・一体感の醸成を図ります。

